

久留米大学を受診した患者さんへ

「大腿骨頭すべり症に対し長下肢免荷装具を着用しての在宅復帰に取り組んだ一症例」の研究に使用する資料について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の資料を使用します。

- 1) 期間：平成 26 年 12 月 19 日～平成 28 年 5 月 6 日
- 2) 受診科：整形外科
- 3) 対象疾患名：右大腿骨頭すべり症
- 4) 使用する資料：診療録

あなたの資料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：リハビリテーション部
研究代表者：理学療法士 黒木 悟志
研究分担者：整形外科科学講座 教授 志波 直人

2) 研究の意義と目的

理学療法は「身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行なわせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えること（交易社団法人日本理学療法士協会・定義）」です。患者さんに合った評価及び治療法を検討し、よりよい治療効果を目的とします。

3) 研究の方法：

身体機能や日常生活動作等の評価を行い、問題点に対しての理学療法を行います。治療途中や終了時に効果の判定及び検討をします。

4) 研究期間：平成 27 年 6 月倫理委員会承認後～平成 28 年 3 月 31 日迄

5) 上記の資料の使用を選定した理由：本症例の評価及び治療効果を検討することで、患者様に対する適切な治療を行うことができ、治療や外来リハビリ期間の短縮が期待されるため。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：

今回の研究で得られた情報は厳密に管理され、プライバシーに関する個人情報は保護されま
す。取得した個人情報を、個人が特定されるような形で公表することはありません。
また、研究協力に関する同意に関してはリハビリテーション実施計画書にて同意を得ていま
す。

7) 研究成果の発表の方法：福岡県理学療法士学会で行われる症例発表

8) その他：特記なし

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

久留米大学医療センター リハビリテーション部 理学療法士 黒木 悟志
〒839-0863 福岡県久留米市国分町 155 番 1 号
TEL 0942-22-6721 FAX 0942-22-6538 (直通)

研究番号 /S055